

訓練実施結果概要

訓練目的	<p>横浜市、防災関係機関、市民、企業、NPO等との協働による総合的な訓練を、実災害において使用する学校や地域の施設等で実施することにより、発災時における迅速・的確な初動活動と、相互の連携体制を強めるとともに、市民防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図ります。</p>
日 時	平成18年9月1日（金） 9：00 ～ 18：00
会 場	<ul style="list-style-type: none"> ・青葉区内各所（荏田西小学校、鴨志田緑小学校、新石川小学校、奈良の丘小学校、青葉台東急スクエア、東急電鉄長津田検車区、横浜青葉スポーツ広場前道路、青葉区役所） ・横浜市役所、横浜メディアタワー ・横浜駅及び周辺 ・みなとみらい21地区（新港埠頭、新港パーク）
規 模	参加機関（団体） 55機関 参加人員 約5,200名
想定地震	<p>南関東地域(相模湾)を震源とするマグニチュード7.9、市内最大震度7の地震が発生し、特に青葉区内の被害は甚大で家屋の倒壊や道路の損害をはじめ、電気・ガス・水道等のライフラインにも大きな被害が発生している。また、各所で火災が発生し、多数の死傷者が出ている。</p>
訓練項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校を利用した訓練 <ol style="list-style-type: none"> (1) 避難誘導訓練 (2) 地域防災拠点開設運営訓練 (3) 地域医療救護拠点開設運営訓練 (4) 救護活動訓練 (5) 防災資機材取扱訓練 (6) 情報受伝達訓練 他 2 学校以外の地域における訓練 <ol style="list-style-type: none"> (1) 広報訓練 (2) 避難誘導訓練 (3) 防犯パトロール訓練 (4) 救援物資輸送訓練 (5) 緊急交通路確保訓練 (6) 道路啓開訓練 (7) 救出救助訓練 他

<p>訓練項目</p>	<p>3 区役所における訓練 (1) 区災害対策本部運営訓練 (2) 情報受伝達訓練 (3) 救援物資受入配布訓練 他</p> <p>4 市役所における訓練 (1) 職員動員訓練 (2) 市本部運営訓練 (3) 情報受伝達訓練 他</p> <p>5 横浜駅周辺地区混乱防止対策訓練 (1) 避難誘導訓練 (2) 帰宅困難者対策訓練 他</p> <p>6 みなとみらい 21 地区における訓練 帰宅困難者対策訓練</p>
<p>訓練の特徴</p>	<p><u>住民主体の防災訓練の実施</u> 青葉区の住民を中心とした「訓練企画委員会」を立ち上げ、訓練内容は委員会の意見を十分取り入れた内容で実施した。</p> <p><u>実災害に即した訓練の実施</u> 「大規模会場型訓練」を見直し、地域住民が実際に避難する地域防災拠点を使用した訓練や、商業施設（青葉台東急スクエア）を使用した救出救助訓練、公道を使用した緊急交通路確保訓練や道路啓開訓練など、現場型（地域分散型）訓練を実施した。</p> <p><u>広報手段の工夫</u> それぞれの会場で行われる訓練の様子を、イッツ・コミュニケーションズ(株)(CATV事業者)や(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモの協力を得て映像で結び、生中継で放送した。また、イッツコム系列のFMサルーヌにおいてもラジオ生中継を実施した。</p>
<p>参加機関</p>	<p>八都県市広域応援協定自治体 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、川崎市、千葉市、さいたま市 陸上自衛隊第 31 普通科連隊 海上自衛隊 神奈川県警察</p> <p>指定公共機関 横浜中央郵便局・青葉郵便局 日本赤十字社神奈川県支部 (株)NTT東日本ー神奈川 (株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ神奈川支店 東京電力(株)鶴見支店 東京ガス(株)神奈川支店・東京ガス(株)神奈川導管ネットワークセンター</p>

参加機関

指定地方公共機関

- (社)横浜市医師会・青葉区医師会
- (社)横浜市歯科医師会・青葉区歯科医師会
- (社)横浜市薬剤師会・青葉区薬剤師会
- (社)神奈川県トラック協会
- (社)埼玉県トラック協会
- (社)千葉県トラック協会

協定機関

- (社)横浜建設業協会(横浜建設業防災作業隊青葉方面班)
- (社)神奈川建設重機協同組合(災害救助隊)
- (社)神奈川県エルピーガス協会
- 横浜市アマチュア無線非常通信協力会青葉支部
- 赤帽首都圏軽自動車協同組合神奈川県支部
- 協同組合横浜マーチャンダイジングセンターー神商事(株)
- 生活協同組合コープかながわ
- 横浜中央市場青果卸協同組合(水浅青果(株))
- 横浜南部市場青果卸協同組合(株)川原青果)
- 金港物産(株)
- 浜一運送(株)
- (株)イトーヨーカ堂

市民参加組織等

- 青葉区企画運営委員会
- 荏田西小学校地域防災拠点運営委員会
- 鴨志田緑小学校地域防災拠点運営委員会
- 新石川小学校地域防災拠点運営委員会
- 奈良の丘小学校地域防災拠点運営委員会
- 青葉消防団
- NPO法人救助犬訓練士協会
- NPO法人神奈川救助犬ネットワーク
- 赤十字防災ボランティア
- 神奈川県山岳赤十字奉仕団
- 災害救援ボランティアセーフティネット青葉区

<p>参加機関</p>	<p>企業・団体等 東京急行電鉄㈱ イツツ・コミュニケーションズ㈱ 青葉台東急スクエア 昭和大学附属藤ヶ丘病院 横浜市立みなと赤十字病院 横浜市国際交流協会 青葉国際交流ラウンジ</p> <p>学校 荏田西小学校 鴨志田緑小学校 新石川小学校 奈良の丘小学校 鴨志田中学校 奈良中学校</p> <p>横浜市</p>
<p>訓練の成果</p>	<p>横浜市では、青葉区の住民を中心とした「訓練企画委員会」を立ち上げ、訓練内容も同委員会の意見を十分取り入れたものとし、当日の運営も住民を主体とした運営が行われた。このことによって、例年に比べても「住民の参加意識の高揚」、「自治会町内会など組織性を使った広報の充実」「地域防災力の向上」が図られた。</p> <p>分散型訓練とし「身近な既存施設で実災害に即した訓練」とした結果、小中学生・地域住民が一体となった訓練や、消防、警察、自衛隊をはじめとする防災関係機関が実災害に活動すべき現場での訓練を行えたことなど、より実践的で効果的な訓練となった。</p> <p>イツツ・コミュニケーションズ㈱やFMサルースの協力を得て、事前広報や当日の生放送を実施したところ、防災に関する普及啓発については過去にたく充実したものとなった。</p>
<p>八都縣市以外の広域応援</p>	<p>未実施</p>
<p>今後の課題</p>	<p>今年の訓練は、例年と比較しても、より地域住民主体の訓練が実施されたが、今後も一層地域防災力の向上が見込まれる訓練を実施していく必要がある。</p>